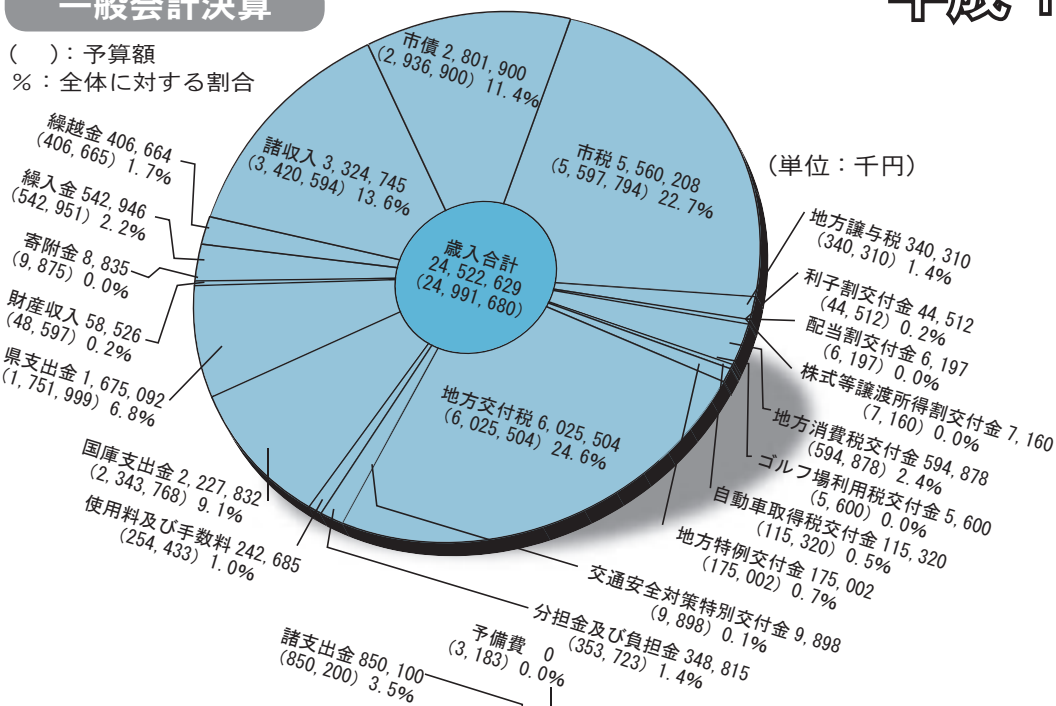
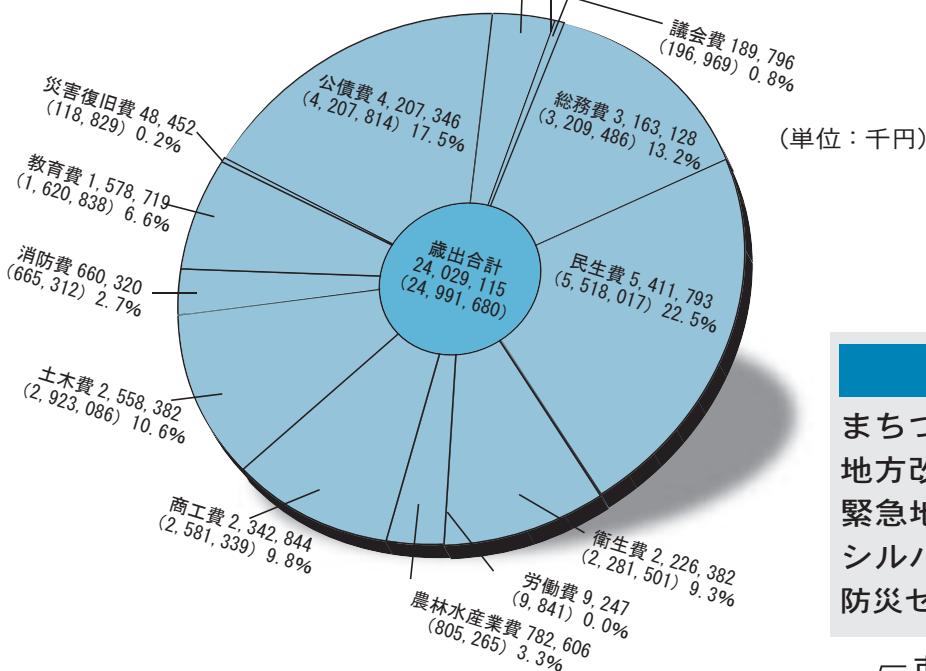


## 一般会計決算

( ) : 予算額  
% : 全体に対する割合

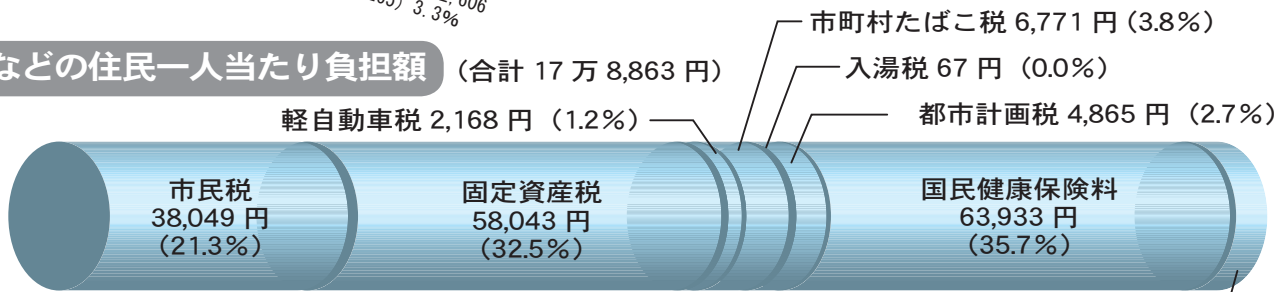


**まちづくり総合支援（打吹地区）**  
**地方改善施設等整備**  
**緊急地方道路（めいりん通り線・上井海田東町線）整備**  
**シルバー倉吉整備**  
**防災センター「くら用心」整備**  
**などを実施**



● 主な事業 ●	
まちづくり総合支援	1億 3,683万円
地方改善施設等整備	1億 2,662万円
緊急地方道路整備	1億 910万円
シルバー倉吉整備	7,649万円
防災センター「くら用心」整備	3,306万円

## 市税などの住民一人当たり負担額 (合計 17万 8,863円)



\* 住民基本台帳人口および外国人登録人口 53,175人 被保険者数 20,927人 (平成 17.3.31 現在)

## 特別会計

### 国民健康保険事業

歳入総額は4億7,506万円、歳出総額は4億4,044円であり、歳入歳出差引は3億7,102万円でした。  
 歳入では、保険料及び保険税1億2,967万円、国庫支

その主な事業は、まちづくり総合支援（打吹地区）1億3,683万円、地方改善施設等整備1億2,662万円、緊急地方道路（めいりん通り線・上井海田東町線）整備1億9,100万円、シルバー倉吉整備7,649万円、防災センター「くら用心」整備3,306万円などです。

関金町との合併に向けた、行政全般にわたり、効率的な財政運営のための創意工夫を行い、緊急度を考慮しながら、市勢の進展と市民の福祉向上に努めてきました。  
 決算額については、歳入総額2億4,502万2,633円、歳出総額2億4,029万1,115円であり、歳入歳出差引は4億9,351万円、また翌年度繰越額は3億7,908万円となりました。

## 一般会計

# 平成 16 年度決算の概況

## 都市計画税の充当割合

(単位：千円)

支出	項目	決算額
	街路費	368,832
	公園費	33,590
	下水道費	740,145
	土地区画整理費	11,536
	公債費	2,262,387
	合計	3,416,490

収入	特定財源	2,115,531
	都市計画税 A	254,306
	一般財源等 B	1,046,653
	合計	3,416,490

充当割合  $A / (A + B) \times 100$  19.5%

■都市計画税は、都市計画事業または土地区画整理事業に必要な費用に充てるため、都市計画区域のうち、用途地域内に所在する土地および家屋に課す税金です。

## 入湯税の充当区分

(単位：千円)

項目	決算額	充当額
環境衛生施設の整備	42,580	0
鉱泉源の保護管理施設	0	0
消防施設等の整備	7,887	0
観光施設の整備	22,916	0
観光振興	24,160	3,492
合計	97,543	3,492
(うち入湯税の充当事業)		
関金温泉観光協会補助金	3,260	3,260
とっとり梨の花温泉郷連絡協議会負担金	1,600	232

■環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるため、鉱泉浴場での入湯に対し、入湯客に課する税金です。

上井羽合線  
沿道土地区画整理事業  
歳入総額は3億4,814万円、歳出総額は3億4,802万円であり歳入歳出差引は12万円、また翌年度繰越額は2億2,311万円となりました。

歳入では、公共施設管理者負担金1億6,303万円、一般会計繰入金5,793万円、市債9,070万円、歳出では、物件移転等補償費2億2,263万円、土地造成等工事請負費1億853万円が主なものです。

◎その他特別会計については、順調に運営しています。

沿道土地区画整理事業  
歳入総額は10億8,578万円、歳出総額は10億8,578万円また翌年度繰越額は150万円となりました。

歳入では、事業費分担金4,062万円、使用料及び手数料6,539万円、県支出金2億9,770万円、一般会計繰入金2億5,896万円、市債3億5,040万円、歳出では、集落排水施設整備工事5億8,669万円、公債費2億1,960万円が主なものです。

## 特別会計決算

(単位：千円)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	4,396,587	4,475,060	4,104,045
介護保険事業	3,302,909	3,302,375	3,274,186
老人保健事業	5,716,906	5,584,774	5,573,638
簡易水道事業	136,521	128,085	128,085
温泉配湯事業	2,146	2,150	1,421
住宅資金貸付事業	167,925	170,829	111,423
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業	8,655	8,954	8,254
土地取得事業	54,003	3	3
上井羽合線沿道土地区画整理事業	575,243	348,136	348,020
下水道事業	3,859,762	3,813,450	3,813,325
駐車場事業	34,052	33,596	33,596
集落排水事業	1,094,655	1,085,779	1,085,779
高城財産区	3,534	3,533	2,560
小鴨財産区	895	876	876
北谷財産区	158	158	0
上北条財産区	32,831	32,591	1,516

## 企業会計決算

### (水道事業)

(単位：千円)

	予算額	決算額		予算額	決算額
収益的収入	1,013,627	998,456	資本的収入	117,883	117,326
収益的支出	922,018	885,236	資本的支出	443,228	430,538

### (国民宿舎事業)

(単位：千円)

	予算額	決算額		予算額	決算額
収益的収入	338,919	269,755	資本的収入	-	-
収益的支出	323,760	444,048	資本的支出	48,749	48,749

(決算額は合併に伴い倉吉市関金町国民宿舎企業団と倉吉市を合算した額)

### 介護保険事業

歳入総額は33億238万円、歳出総額は32億7,419万円であり、歳入歳出差引は2,819万円となりました。

歳入では、介護保険料4億4,088万円、国庫支出金8億7,733万円、県支出金4億318万円、支基金交付金10億1,997万円、一般会計繰入金4億8,604万円、歳出では、保険給付費31億6,051万円が主なものです。

### 下水道事業

歳入総額は38億1,345万円、歳出総額は38億1,333万円であり、歳入歳出差引は12万円、また翌年度繰越額は982万円となりました。

歳入では、事業費負担金1億1,809万円、使用料及び手数料7億1,259万円、国庫支出金1億4千万円、一般会計繰入金12億9,732万円、市債14億2,340万円、歳出では、管渠築造等の工事請負費6億5,662万円、流域下水道維持管理負担金3億9,544万円、公債費21億3,044万円が主なものです。

### 集落排水事業

歳入総額は10億8,578万円、歳出総額は10億8,578万円また翌年度繰越額は150万円となりました。

歳入では、事業費分担金4,062万円、使用料及び手数料6,539万円、県支出金2億9,770万円、一般会計繰入金2億5,896万円、市債3億5,040万円、歳出では、集落排水施設整備工事5億8,669万円、公債費2億1,960万円が主なものです。

# 平成 16 年度 貸借対照表 (バランスシート)

(平成 17 年 3 月 31 日現在) (単位: 千円)

借 方	貸 方
<b>〔資産の部〕</b>	<b>〔負債の部〕</b>
1. 有形固定資産	1. 固定負債
(1) 総務費 4,052,213	(1) 地方債 30,784,458
(2) 民生費 3,632,614	(2) 債務負担行為
(3) 衛生費 424,645	①物件の購入等 0
(4) 労働費 181,721	②債務保証又は損失補償 0
(5) 農林水産業費 7,503,688	債務負担行為計 0
(6) 商工費 1,502,217	(3) 退職給与引当金 3,928,589
(7) 土木費 41,582,985	(4) その他 0
(8) 消防費 234,477	固定負債合計 34,713,047
(9) 教育費 22,371,440	2. 流動負債
(10) その他 557,882	(1) 翌年度償還予定額 3,087,203
計 82,043,882	(2) 翌年度繰上充用金 0
(うち土地 26,381,628)	流動負債合計 3,087,203
有形固定資産合計 82,043,882	負債合計 37,800,250
2. 投資等	<b>〔正味資産の部〕</b>
(1) 投資及び出資金 714,909	1. 国庫支出金 15,241,840
(2) 貸付金 1,664,723	2. 都道府県支出金 7,928,499
(3) 基金	3. 一般財源等 27,811,063
①特定目的基金 1,675,581	正味資産合計 50,981,402
②土地開発基金 442,695	
③定額運用基金 1,900	
基金計 2,120,176	
(4) 退職手当組合積立金 0	
投資合計 4,499,808	
3. 流動資産	
(1) 現金・預金	
①財政調整基金 588,660	
②減債基金 527,606	
③歳計現金 553,736	
現金・預金計 1,670,002	
(2) 未収金	
①地方税 406,626	
②その他 161,334	
未収金計 567,960	
流動資産合計 2,237,962	
資産合計 88,781,652	負債・正味資産合計 88,781,652

※債務負担行為に関する情報

①物件の購入状況	70,720 千円
②債務保証および損失補償	231,616 千円
③利子補給などにかんするもの	0 千円

平成 16 年度のバランスシートは、関金町と合併したため旧関金町・旧関金町倉吉市中学校組合を合算して作成しています。平成 15 年度と比べて資産が 13 億 7 千万円以上減額になっています。基金が 3 億 5 千万円の減額となっていますが、これは地域福祉基金などを廃止して取崩したためです。また、有形固定資産は 9 億 8 千万円の減額となっています。

有形固定資産で減額が大きかったのは教育費と土木費でそれぞれ 3 億 8 千万円と 3 億 5 千万円の減額でした。これは平成 16 年度に行った建設事業に比べパークスクエア整備事業（教育費と土木費）や沿道土地区画整理事業（土木費）などの減価償却額が大きいためです。一方、総務費は 2 億 8 千万円の増額で平成 15 年度から施行している地域情報通信基盤整備事業によるものです。

負債は全体で 6 億 5 千万円の減額になっています。これは地方債残高が減ったためです。正味資産は差引で 7 億 2 千万円減額になっています。

(7)平成 18.11

## 貸借対照表 (バランスシート) (市の資産と負債の状況) は...

国・地方の財政状況が大変厳しい状況にある中で、市民の皆さんに、市の資産や負債の状況を知っていただくことを目的に、貸借対照表を公表しています。

現在の会計制度の下では、民間企業と同様なものを作成することは困難ですが、より分かりやすい情報の提供を行うよう努めていきたいと考えています。



# 平成 17 年度上半期予算執行概況

## 歳入 44.7% 歳出 39.5% を執行

小鴨小学校改築、上井再開発住宅建設、地域ケーブルテレビ施設整備補助、などが主要事業

### 一般会計

昨年度、当市は隣接する関金町と合併し新たなスタートを切りました。～人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」～を目指して、厳しい財政状況の中、組織・機構の簡素合理化、事務事業の見直し、職員給与および定員管理の適正化、収支状況の見直しなど行財政運営全般にわたる改革の推進に努めてまいります。

当市の財政運営にあたり、平成 17 年度は引き続き、職員給、管理職手当、各種委員報酬などの人件費をはじめ、そのほかの経費についても削減に努め、また、市民と一体となって公共施設を整備し、医療・衛生・安全などの諸施策の推進による市民福祉の向上、教育・文化・スポーツなどの振興を図ることを目標に、魅力ある地域づくりに向けて、約 230 億 6 千万円の当初予算を編成しました。当初予算編成では関金町との合併のため義務的経費、継続事業、関係機関などとの調整済みの事務事業のみを計上する骨格予算としており、その後、「小鴨小学校改築」、「上井再開発住宅建設」、「地

### 特別会計予算執行状況(4月～9月)

(単位：千円)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	4,595,589	1,959,417	2,041,873
介護保険事業	3,771,678	1,383,675	1,560,070
老人保健事業	6,089,529	2,535,346	2,636,771
簡易水道事業	191,631	50,052	75,403
温泉配湯事業	7,329	3,672	719
住宅資金貸付事業	134,450	85,470	50,051
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業	5,080	2,021	2,460
土地取得事業	54,003	1	0
上井羽合線沿道土地区画整理事業	648,821	84	98,945
〃 (繰越)	223,105	71,762	148,516
下水道事業	3,506,673	464,421	1,404,152
〃 (繰越)	9,826	125	0
駐車場事業	33,919	15,372	16,297
集落排水事業	1,099,208	39,803	338,869
〃 (繰越)	1,500	1,050	1,050
高城財産区	3,152	2,785	1,014
小鴨財産区	755	0	96
北谷財産区	158	158	0
上北条財産区	31,654	31,168	1,062

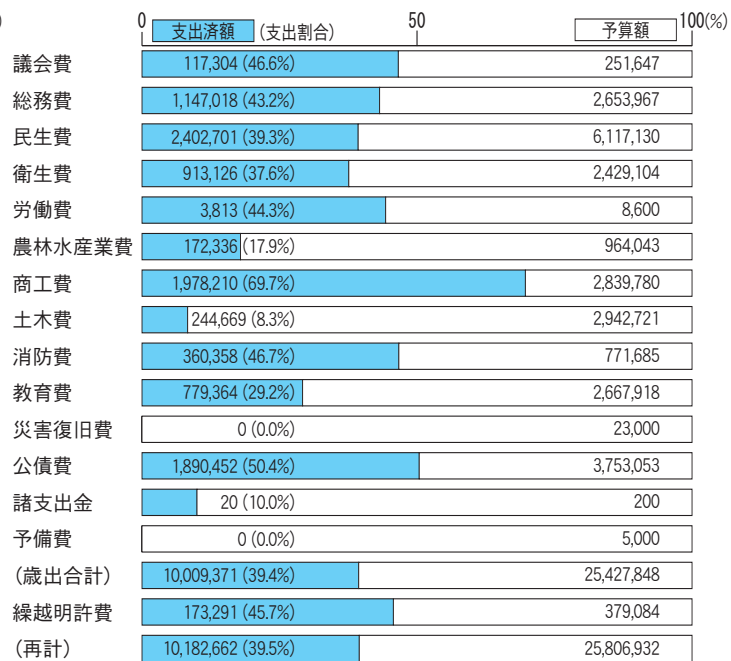
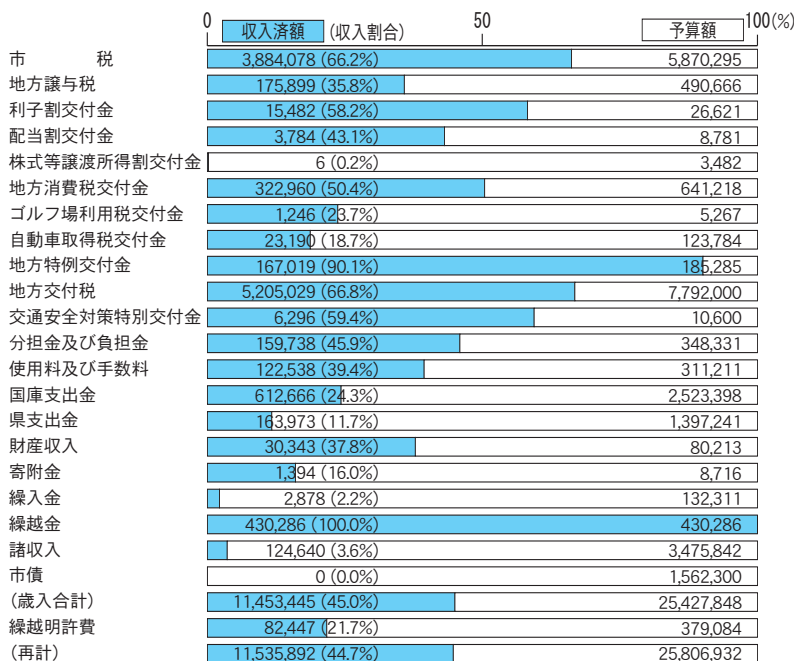
域ケーブルテレビ施設整備補助」などを増額補正し、現計予算額(9月末現在)は、約 254 億 3 千万円となっています。

### 特別会計

いずれの特別会計も事業の効率化と合わせて、収支の均衡を考慮しながら、順調に執行しています。

### 一般会計予算執行状況(4月～9月)

(単位：千円)



## ハート・バリアフリー

倉吉市人権文化センター

☎ 22-4768 / FAX 22-4901

№.17

### 第57回全国人権・同和教育研究大会から

## 注目された倉吉の実践

### 人権絵本作成の取り組み

今年度も1万7千人を超える人たちが、全国から宮崎の地に集い「研究と実践」の交流を行いました。倉吉市からも鳥取県を代表して、「倉吉市人権絵本作成委員会」の山根英二さん・竹本美智子さんが、その取り組みを報告し、多くの参加者の注目を集めました。今回は、その概要をお知らせします。

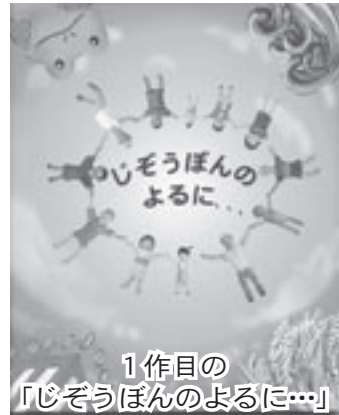
人権絵本作成のきっかけは、2001（平成13）年11月2日に倉吉市で起こった差別投書事件でした。

この事件のあった後、市内全町内や、幼・保育園、小・中学校関係者の学習会、そして啓発パンフレットを作成し全戸に配布など、さまざまな取り組みがされました。

そんなとき、差別文書に書かれた



分科会で実践報告をする山根さん・竹本さん



1作目の

「じぞうぼんのよるに...」

当事者の関係者との話し合いの中で「自分たちにも何かできることはないだろうか」「私たちが今やっている絵本の読み聞かせを通して、子どもたちに伝えたいことがたくさんある」「小さいころからの同和教育の大切さを訴えたい。そして、人を大切にする心を育みたい」などの意見が出されました。そして、就学前から小学校低学年の人権問題の資料が少ないということもあり、それなら自分たちの手でつくろうということになりました。

初めての絵本づくり、自分たちにはできないものをつくりたい。それは、身近な被差別部落の人々の生き方や想いを絵本にすることでした。いろいろ苦労がありました。多くの私たちの協力を得て「じぞうぼんのよるに...」と「さあさあお茶にしましよ

うか・ぼて茶の由来...」の2作品を完成することができました。

そして、3作目がこの度でき上がった絵本「はれたらいいな」です。絵本作成メンバーもAさんの想いを込めて制作しました。

自分自身の体験をベースに今の社会を取り巻く大人の「障害」者観それが子どもたちにどのように影響を与えているのかをテーマとして描きました。子どもたちだけでなく読んだ大人自身にも鋭く自分の価値観を問いかける内容になっています。

私たちの絵本づくりの取り組みはさまざまなお人々の出会いを通して、少しずつ広がりをもってきています。「こんなこともできるのですね」「私たちも絵本をつくってみたいですよ」「絵を描くのを手伝わせてください」と同じ想いをもつ人たちの輪が自然と広がり、現在は4作目にとりかかっています。

絵本づくりの取り組みを振り返りながら、そのきっかけとなった差別投書事件のことを改めて感じています。依然として私たちの周りではさまざまな差別事件が起こっています。目の前の問題を話し合いながら、子どもたちに想いや願いを伝えるために絵本をつくり続けたいと思っています。

報告が終了すると、大きな拍手が

起こりました。話し合いに入って、冒頭にでた言葉は「その絵本を売ってくれませんか」「本当にすごいことをやっているなあ」「もう一度見たいと思った」など賛辞の言葉を次々といただきました。

閉会全体会の総括の中でもこの実践が取り上げられ、倉吉市からの参加者はもちろん鳥取県からの参加者一同感激しました。

### 全国人権・

### 同和教育研究大会とは

この研究大会は、1953（昭和28）年に大阪で第1回が開催されて以来、昨年で57回目になりました。鳥取県では、1982（昭和57）年の大会と2001（平成13）年の2回開催しています。例年2万人を超える人たちが集い、研究・交流している人権・同和教育の大規模集会です。

### 町内学習会の充実

1974（昭和49）年から、部落問題の正しい理解と認識を図ることから始まった倉吉市同和教育町内学習会は、広がりや深まりをみせ、部落差別をはじめすべての差別をなくする学習の機会に発展してきました。一層充実した取り組みになることが期待されています。

★この「人権絵本」は、幼、保、小、中学校・地区公民館・図書館・人権文化センターなどにありますのでご覧ください。